ダッシュ 3　3つの緊急事業

No.	項目	実施内容	自己評価	平成24年度実施内容
1	中心市街地活性化のためにジョッパル再生に協力します	(1)中心市街地活性化のために、民間事業者に対して、再生に必要な様々な情報を提供し、再生事業を支援するとともに、事業が着実に進むよう取り組みを支援する。 (2)民間事業者の進ちょく状況に歩調を合わせ、駅前市民ホールなど市の施設の取扱いや、市民の利便性向上につながるような公共的利活用のあり方を探る。	進捗率 A	民間事業者が、国の補助制度を活用した再生事業に取り組んだ。市では、この補助制度活用についての助言と、活用に必要な事務手続きを行った。また利活用検討会議を開催し、「弘前駅前地区再開発ビル公共的利活用計画」を決定。3階フロアを取得し、（仮称）駅前分庁舎を設置するとしたことから、**「工程表どおりに実施済み」**と評価した。
			達成率 A	民間事業者による再生事業が着実に進んでいるとともに、市においても、公共的利活用計画に基づき、3階フロアを取得し、（仮称）駅前分庁舎を設置するとしたことから、**「目標を達成済み」**と評価した。

目標	H22	H23	H24
商業環境や復旧経費を調査し、民間事業者への情報提供を実施	実施		
利活用検討会議の設置・開催	－	3回	4回
利活用のあり方の決定	－	－	決定
事務事業名 / 決算額	4,200	0	0
弘前駅前地区再開発ビル再生事業			

今後の課題	施設全体として安定した運営ができるよう、民間事業者と連携した取り組みを行っていく必要がある。

No.	項目	実施内容	自己評価	平成24年度実施内容
2	堀越地区全天候型スポレク施設建設の見直しをします	地域住民や関係団体から反対意見のある全天候型スポレク施設について、市民や関係団体の意見を聞きながら建設計画を一から見直しする。	進捗率 A	スポレク施設の建設見直しにより、多目的広場として整備し供用を開始していることから**「工程表どおりに実施済み」**と評価した。
			達成率 A	建設計画の見直しを実施したことから「目標を達成済み」と評価した。

目標	H22	H23	H24
見直し方針を決定（H22）	－	－	－
H23年度予算へ反映（H22）	－	－	－
事務事業名 / 決算額	460	20,299	794
スポレク施設建設見直し事務			

今後の課題	ファシリティマネジメントを活用した施設の有効利用を目指して、多目的広場の利活用について地元の意見を取り入れながら方針を決定する。

<table>
<tr><th>No.</th><th>項目</th><th>実施内容</th><th>自己評価</th><th colspan="5">平成24年度実施内容</th></tr>
<tr><td rowspan="9">3</td><td rowspan="9">東北新幹線新青森駅開業（全線開通）・弘前城築城400年を絶好の機会ととらえ、早急に実効性のある観光施策を行います</td><td rowspan="7">観光情報発信の強化、観光資源の磨上げ、受入態勢の整備などによって、誘客拡大と交流人口増加に努める。</td><td>進捗率
A</td><td colspan="5">下記の事業等を実施したことから、「行程表どおり実施済み」と評価した。
・観光振興アクションプログラムに掲げた5つのプロジェクト・55のプログラムに基づき事業を進めた。
・在東京チームにおいては、県東京事務所と連携して観光PRや旅行エージェント等への働きかけを行い、当市への誘客につなげた。
・新幹線効果活用事業、弘前駅自由通路等にぎわい創出事業、おもてなし観光推進事業を実施した。
・インバウンド事業を強化した。
・弘前感交劇場ポータルサイトの供用を開始し、外国語版（4か国語）を制作した。
・日本まちあるきフォーラムを開催するとともに、街歩き観光の推進を図り、受入態勢の整備に努めた。
・地域のまつりとしての四大まつりに、弘前城築城400年祭関連事業の一部を継承した。
・集客力が弱いとされる秋・冬期間に、弘前りんご博覧会及び冬を彩る光のまちづくり事業を開催し、誘客を図った。</td></tr>
<tr><td>達成率
B</td><td colspan="5">目標のうち、「行祭事・イベント観光入込客数」は目標を達成できなかったが、「観光入込客数」については目標を達成したことから、「概ね順調に推移」と評価した。</td></tr>
<tr><td colspan="2">目標</td><td>H22</td><td>H23</td><td>H24</td></tr>
<tr><td colspan="2" rowspan="2">観光入込客数 基準値（H22） 4,551千人
4,500千人（H24）、5,000千人（H25）</td><td>目標値</td><td>－</td><td>4,000</td><td>4,500</td></tr>
<tr><td>実績値</td><td>4,551</td><td>4,138</td><td>4,508</td></tr>
<tr><td colspan="2" rowspan="2">行祭事・イベント観光入込客数　基準値（H22）　4,853千人
4,900千人（H24）、5,500千人（H25）</td><td>目標値</td><td>－</td><td>4,400</td><td>4,900</td></tr>
<tr><td>実績値</td><td>4,853</td><td>4,736</td><td>4,375</td></tr>
<tr><td>事務事業名</td><td colspan="2">決算額</td><td colspan="3">個別施策工程表に記載</td></tr>
<tr><td>観光振興事業ほか</td><td>今後の課題</td><td colspan="5">目標の達成に向けて、観光情報の効果的な発信を行うとともに、秋・冬期間の誘客を図るための事業を継続して実施する。
「弘前市観光振興アクションプログラム」は平成25年度が取組みの最終年度となることから、平成26年度以降の計画の策定について検討する。</td></tr>
</table>